



第六回坂猶興墓前祭

特高の拷問を忘れない

国賠同盟塩釜支部は坂
猶興医師の命日にあたる
2月26日、治安維持

法犠牲者を顕彰する取り
組みとして第六回坂猶興
墓前祭を開催しました。

小雪まじりの寒風が吹

く中、坂猶興医師の遺族
坂和夫氏は、手先を寒さ
で震わせながら父猶興医
師への思いを切々と語り
ました。猶興は戦前の4

・16弾圧事件と39
年の宮城県9・11弾圧
事件の際、二回にわたっ
て治安維持法違反の容疑
で検挙されています。

聴診器を当て触診によ
る診察をする医師にとっ
て、指先は命です。「剣道

二刀流であった父でも、
獄中、特高に指の間に細
い棒を入れて締め上げら
れた時の指関節への激痛
はきつかったと話してい
ました」「父は指関節を
ポキポキ鳴らすくせがあ
ったが、話す時の顔には
笑顔が消えていた」と思
い出を語りました。猶興
の祖父は戊辰戦争時の仙

「わしも死の海におった」

宮城・塩釜

治維法国賠同盟支部が上映会

宮城県治安維持法犠
牲者国家賠償要求同盟
塩釜支部は1日のヒキ
ニデーに、塩釜市内で
南海放送制作のDVD
「わしも死の海におっ
た」の上映会を行いま
した。

当時とキ二環磯辺
で1000隻もの日本
漁船が操業中と知った
参加者は、世界1・2
2カ所に放射能汚染影
響調査地帯を設定して 神丸が入港し、日本
90回の水爆実験をし 共産党の坂猶興市長
たことに驚き、この (医師) が他党派議員
事件を機に原水爆禁止 一同して損害賠償
運動が始まり、第一回 求む賠償停止を求め
原水爆禁止世界大会に 決議を政府に提出して
結びついたことと県内
各地での核兵器廃絶自
治体宣言のとりみな
れを世論とするた
め、国連決議の核兵器
塩釜海は当時、被ば
くマングロの管轄指定
禁止条約をせよの声を
ひろげる大切さを確認す
る機幸となりました。

台藩国家老板英力、父琢

治は英力の次男です。猶
興は琢治の四男として生
まれ、北帝大医学部衛生
学講師時代に、社会科学
研究会に参加したことで
検挙されました。昭和八
年の三陸沖地震津波の被
災者救援活動に参加した
際にも検挙されています
戦後の猶興は坂病院内
で、日本共産党宮城地方
委員会結成に携わり、戦
後初の総選挙の公認党候

補となるなど、診療の傍
ら政治活動に積極的に関
りました。そして坂病院
長として医療活動の大衆
的基盤を作り上げ、平和
・人権など多面にわたる
運動の先駆者でした。参
加者は後世に語り継ぐこ
との大切さを痛感させら
れた墓前祭となりました



№585 号付録

宮城版 4 0 7

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
宮城県本部

仙台市青葉区五橋
1-5-1 3
県労会館 3 F

「わしも死の海におった」 3/6

仙南支部

第二九回総会

2月26日、柴田町の

故篠原氏宅で開催しました。ロシアのウクライナ侵略のもとで、「安保3文書」が国会を無視して「閣議決定」される等、まさに「新しい戦前」を感じさせる情勢下で、椎谷照彦支部会長と横田有史県本部会長は、ふたたび戦争を起こさせない運動の拡大を、あいさつで訴えました。

議事では、昨年の劇映画「千代子」の製作・上映活動では、上映2会場で211人の鑑賞と、新会員さんを迎えた事など、運動の広がりが報告されました。さらに、「千代子」上映会を、各地で開催する事を決定。「上映権」などの整理は済んで

ますので、5人・10人の上映も可能です。前回見逃した人、もう一度見たい人も含めて、ぜひ、ご相談ください。

活動では、蔵王町矢附の「憲法記念碑」の顕彰活動への参加など、討論しました。

また、国会請願署名の自主目標を700筆、支部会員を早期に30人にすることを決定。支部会員の皆さんに相談し、お力をお借りして、ぜひとも実現を目指すことを確認しました。来年度予算では、印刷代や切手代などを正確に管理する事にして、事務局費と活動費を訂正しました。

長年、支部幹事会の拡大・強化をめざしてきましたが、この日参加した吉田さんが、幹事を引き受けて下さいました。仙南支部に、新しい風が吹いています。

仙台支部総会のご案内

日時 4月20日(水) 午後

会場 県労連会館 2F会議室

*DVD映画「種まく人びと(45分)」

国賠同盟創立50周年記念映画 日本映画復興会議奨励賞受賞

*仙台支部総会

*DVD映画「トマホーク」

宮城県 の 顕彰運動

そのテーマと課題【2】

『安重根義士・千

葉十七居士・追

悼会』とその再開と

継続を巡って

1、『わが心の安重根―千葉十七・合掌の生涯―』（五月書房）。宮城県栗原市若柳・大林寺の齋藤泰彦住職が1991年に著した250頁の書籍がある。1909年10月26日に、朝鮮を奪い取った元老・伊藤博文を満州ハルビンで射殺した独立運動家・安重根（アンジュンゴン）。今日でも文字通り韓国の最高の英雄である。彼が揮毫した

、『為国献身軍人本分』(国の為に身を献げるは軍人の本分なり)を記した大きな石碑。その裏面には『顕彰碑文』が彫られ、その最後には『安義士の命日に際し日韓両国永遠の友好を祈念して 一九八一年三月二十六日 宮城県知事 山本壮一郎』と記載されている。

2、日本の初代総理大臣を射殺した安重根は、丁度六か月後に処刑された。その六か月間、看守に当たったのが、若柳出身の千葉十七。取り調べや「裁判」の場での安重根の主張や態度に、彼の心は大きな存在となり、死刑執行日の朝に彼が墨して贈った上記の「一文」は、千葉家の宝物として床の間に飾られていた。そして、1979年の「安重根義士生誕百周年の祝典」に際し、千葉十七の遺族は、意を決して、この遺墨をソウルの「安義士崇慕館」に供えた。日韓両国の大きな感動の中、『安重根と千葉十七の稀なる篤行を顕彰すべく』、日韓両国の有志により、千葉十七の墓のある大林寺に顕彰碑が設けられたのである。

3、以来四〇年間にわたり、9月には韓国からも総領事をはじめ多くの方々が参加し、「安重根義士・千葉十七居士追悼会」が行われてきた。手元には2016年9月11日の「第36回追悼会」と「日韓親善交流会」のDVDが残されている。しかし、2020年以降は、コロナ禍と齋藤住職の病氣も重なり、開催されなまま今日に至っている。

4、私も県会議員当時、高校・大学の先輩でもある齋藤住職を訪ね、サイン本も戴いてお話を聞き、県議会で「日韓友情」の重要性を質したのが1999年。その翌年には、当時の浅野知事の下、大林寺への五枚の案内板が設置され、仙台での国賠同盟主催の「齋藤住職講演会」も開催。毎年の追悼会にも誘い合っ

て参加してきた。ところが、県議を引退しての5年後には、村井知事は県議・国会議員の追及を受け、看板を撤去するなど、日韓友好にも背を向ける事態が生じている。

5、「安重根の記念碑

が宮城県にあること知らなかった」と、2年前に出版した『治安維持法と朝鮮＝布施辰治の活躍を軸に＝』のパンフを読んだ全国の仲間から寄せられ、県民でも知っている人もほんの僅か。ホヤやカキの主要な輸出先でもあり、宮城の産業にとって、日韓友好は重要なテーマである。

政府間の関係悪化の下でも、草の根から、日韓両国民の友好の絆を深める私たちの活動は、東アジアの安全保障問題にも解決を見出すことにもなるだろう。

『安重根と千葉十七の顕彰運動』は、極めて大きい課題であると言わざるを得ない。

6、昨年、平和委員会の自由と民主主義を訪

ねる旅」では、大林寺の副住職の案内も受けることが出来た。栗原9条の会の会長さん

を先頭に、「案内板の設置」を進める運動も始まっている。今日まで、大林寺とその檀家の方々に、社会的困難を乗り越えて継続してきた「日韓の真の絆」をどのように継承していくか。対策が急がれています。その詳細は、改めて問題提起させて頂きたい。

横田 有史

2023年みやぎ市民の憲法行事参加企画

「新しい戦前」を象徴する・・・

学問・研究、科学・技術の軍事化への道!?

日時 2023年5月13日(土)

午後1時30分～4時

会場 宮城県民会館601・602会議室

(資料代500円 学生・青年無料)

特別講演 「経済安全保障政策」について

井原聰さん(東北大学名誉教授 「科学史、技術史」)

現況報告

片山知史さん(東北大学教授 東北大学職員組合委員長)

第二七回女性部仙台支部

学習会報告

参加者5名。参加者はすくなかったが、第20章の「2. 民主化の進展と社会運動の高揚」
「3. 占領政策の転換」
「コラム 復員と引揚」
第21章「1. 寛大な講和」まで進んだ。

戦争直後の日本政府は戦時体制を解除し、満州事変前の平時に戻すことが連合国の対日要求を満足させると考えていた。
GHQの思惑は、日本側の思惑をはるかに超えるものだった。
1945年10月弾圧法規の廃止・政治犯の釈放・思想警察の廃止等を指令。幣原喜重郎内閣時には、女性の解放・学校教育経済機構の民主化、労働組合の結成の奨

励、敗戦後の陸海軍の武装解除と大本営などの軍事機関の廃止が行われた。
46年2月から軍国主義的な政治家や言論人などを公職追放、46年8月特殊会社整理委員会 の設置、47年4月独禁法の公布、12月各経済力集中排除法の公布によって財閥による企業支配が解体、46年10月農地改革、地主の土地を強制的に買収、小作農に売却。45年12月労働組合法公布、団結権・団体交渉権・争議権が保証される。女性の参政権の付与(45年12月)、民法の戸主中心の家制度の廃止などで、女性の地位向上も進む。その中で日本国憲法制定(46年11月3日)公布。47年5月3日施行)された。新憲法案は、鈴木安蔵らをはじめ草案を提出しているこ

とについて、経過については1月の学習会で一戸さんが詳しく説明している。戦争とファシズムから解放された日本の民衆は、民主化政策に触発され、生活難に後押しされながら、政治や社会体制の変革を求めて運動に積極的に参加していった。
しかし、中国での社会主義革命の成功や東欧諸国などでソ連の衛星国が次々誕生していったことから、アメリカのトルーマン大統領は47年3月、共産主義の脅威と戦っている国々を援助することがアメリカの使命と宣言(トルーマン・ドクトリン)、6月にはヨーロッパの経済復興のための大規模な援助を行うことを明言(マーシャル・プラン)。49年4月アメリカなどの西側諸国によって北大西洋条約機構

(NATO)が結成。ヨーロッパで始まった冷戦がアジアにも波及、日本の民主化から経済復興に置き直す。48年10月にはアメリカの国家安全保障会議が対日政策の見直しに踏み切り、均衡財政、労働争議の抑制、公職追放の解除、戦犯裁判の早期終結実行。新たな財政金融引き締め政策(ドッジ・ライン)により、予算の大幅削減、新規融資の停止、貸金抑制等によりインフレを急ぎ収束、アメリカを中心とした国際通貨体制の中に日本経済を組み入れる。人員整理への抵抗に対し、労働運動を法規制し、共産党への弾圧に乗り出す。「逆コース」の始まり。
50年6月、北朝鮮軍隊が韓国に侵攻。アメリカは「国連軍」の形をとって内戦に武力介入した。日本はアメリカ軍の兵

站基地として大きな役割を果たす。7月マツカイサー元帥が警察予備隊の創設指示。吉田内閣は、レッド・パージ政策本格化、反戦運動や労働運動に打撃を与える。敗戦の打撃とドッジ・ラインの下で不況にあえいでいた日本は、朝鮮特需や輸出の増加で、急速な復興を遂げる。その流れの中で、サンフランシスコ講和条約である。

次回は3月20日
14時から、仙台サポ
センにて (文責・小野)

いま、治安維持法を学んでみよう

宮城県本部のパンフ

・高橋とみ子不屈の青春 500円

・いま語る昭和史の影 300円

・治安維持法と朝鮮 500円

・いま光を放つ五日市憲法 200円

中央本部のパンフ

・虐殺 100円

・獄死者 250円

・憲法違反・戦争準備の「共謀罪」を粉碎しよう 200円

国賠同盟学習テキスト

・ふたたび戦争と暗黒政治を許すな 800円

・いまも生きている治安維持法 500円

国賠同盟機関誌

・治安維持法と現代 年2回刊 1000円

編集後記

▼坂猶興さんは、「不屈」には多く登場する。しかし、坂さん自身についての記事は少ない。九一年十月号(合本一巻)に奥さまの坂はつさんが「わが夫坂猶興の歩んだこの道」を寄稿している。▼農民運動の武藤峻さんは、刑期を終えて出獄し、坂氏宅に直行して一泊している(九三年五月号「むさんとの子」合本2巻)。彼ら活動家(と家族)を物心両面で支えていること、坂氏の人柄がよく分かる。読んでみたい方には、コピーをあげます。▼仙南支部総会での椎谷支部長のあいさつ。氏は、東京で育つ。父の出征後、角

田に疎開。母は、父が帰ってきたら東京に戻ると、話をした。しかし、戦死の公報(あるいは「餓死」かも)。その後、大変苦勞をして、角田の学校を卒業して、建設省に就職。▼私と同世代の人にも「戦争体験」があつた。真剣に話す椎谷氏の姿に感動と共感した。私の姉は「空腹と空襲警報」だと、そっけないけど、それも「体験」だ。私にも覚えがある。皆んなで語り、伝える事も我々の任務ではないだろうか。▼コロナは、一体どうなることやら。また私には、物価値上がり困る。タマゴでも牛乳でも2000円を切ると「安い」と思うのが悲しい。▼気候の変わり目。来る地方選挙も近い。健康に気をつけて、がんばろう